

教科	算数	学年	第4学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 大きい数のしくみ	億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍や1/10にした数、被乗数と乗数が3位数の整数の乗法計算をすることができる。	整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数どうしの大きさの比べ方や表し方を統合的にとらえ説明している。	億の単位を用いた整数の仕組みや表し方を既習の整数の学習から類推して考えようとしている。 十進位取り記数法や万進法のよさを振り返り、生活に生かそうとしている。
2. 折れ線グラフと表	折れ線グラフの特徴や使い方、データを二次元表に分類整理することを理解し、それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。	データを目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し、結論について考え、説明している。	折れ線グラフを用いる上での注意点等や、データを二次元表に整理して簡潔にとらえられるよさを振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。
3. わり算の筆算(1)	既習の乗法九九を1回用いて商を求める計算及び簡単な2位数を1位数でわる計算の方法を活用し、2～3位数÷1位数の計算をすることができる。	数の見方や構成に着目し、計算の仕方を考え、説明している。	暗算した過程を振り返り、自分に合った計算の仕方を考え、今後の学習に生かそうとしている。
4. 角の大きさ	角の大きさを回転の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位(度°)や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。	図形の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形などの図形を考察し、説明している。	対話的に粘り強く問題解決に取り組むとともに、180°より大きい角度の測定の仕方を考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。
5. 小数のしくみ	1/100の位、1/1000の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。	1/10未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。	既習の整数や小数の表し方や仕組みを振り返り、学習に生かそうとしている。 小数の仕組みを整数の仕組みと統合的にとらえた活動を振り返り、学習に生かそうとしている。 数学的表現を用いて、小数を多様な見方で表したりとらえたりしたことを振り返り、学習に生かそうとしている。
6. わり算の筆算(2)	既習の除法の筆算の仕方や数のまとまりを用いて2～3位数を2位数でわる除法の計算をすることができる。	数量の関係に着目して、2～3位数を2位数でわる除法の計算の仕方を考え、説明している。	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の学習に活用しようとしたりしている。
7. がい数の使い方と表し方	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。	これまでに養った数感覚を振り返り、学習に生かそうとしている。

8. 計算のきまり	四則の混合した式や()を用いた式の計算の順序を理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりを用いて、計算の仕方を工夫することができる。	四則の混合した式や()を用いた式の表し方に着目し、問題場面を簡潔に表現したり、一般的に表現したりすることについて考え、説明している。	概数で表す活動を通して、大きさがとらえやすくなるなどの概数のよさを振り返り、今後の学習や生活に生かそうとしている。 主体的に問題解決に取り組むとともに、概数を用いて積や商の見積もりをした活動を振り返り、学習や日常生活に生かそうとしている。
9. 垂直、平行と四角形	直線の垂直や平行の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴について理解している。	辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見いだして表現したり、様々な四角形と対角線の特徴を整理して考え、説明したりしている。	自分の考えを1つの式に表したり、図から考えを読み取ったりしたことを振り返り、学習に生かそうとしている。
10. 分数	分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。	数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。	身の回りから垂直や平行の関係にある直線を見いだしたことを振り返り、生活に生かそうとしている。
11. 変わり方調べ	伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて変化の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。	伴って変わる二つの数量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。	数直線や単位分数に着目して分数の大きさや表し方について考えたことを振り返り、学習に生かそうとしている。 帯分数の加法計算を振り返り、帯分数の減法計算に生かそうとしている。
12. 面積のはかり方と表し方	面積の普遍単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方、面積の単位間の関係を理解するとともに、面積についての量感を身につけている。	量や乗法の学習を基に、面積の意味や図形の構成要素に着目して、面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。	表から二つの数量の関係を見いだした過程を振り返り、学習に生かそうとしている。
13. 小数のかけ算とわり算	既習の乗除計算の仕方や整数倍の学習を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、答えを求めたり小数倍を求めたりすることができる。	数の構成に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を考え説明したり、整数倍の学習を基に小数倍の意味について考え説明したりしている。	量の学習において長さやかさ等を数値化して比較したことを振り返り、学習に生かそうとしている。 図を分割したり補ったりして面積を求めたことを振り返り、学習に生かそうとしている。

14. 直方体と立方体	直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取図をかいたり、位置を表したりすることができる。	立体図形の構成要素や位置関係に着目して、特徴や性質を考え説明したり、直方体を基に、直線や平面の垂直と平行の関係、ものの位置の表し方を考え、説明したりしている。	
そろばん	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。	